

琉球王朝崩壊の目撃者 喜舎場朝賢



山口栄鉄著 四六判ソフトカバー224頁 本体 2,000円 ISBN978-4-8295-0765-0

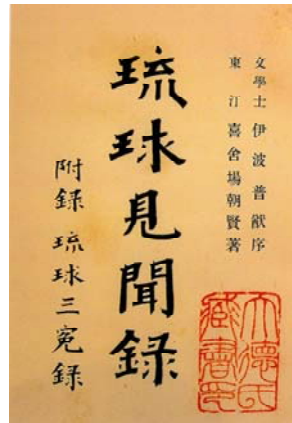
明治政府による「琉球処分」で解体された琉球王国の
崩壊過程を目撃した官僚 喜舎場朝賢の評伝

朝賢が琉球側の視点で「琉球処分」を記録した『琉球見聞録』をはじめ、さまざまな記録・史料を駆使して明らかにする側面史

山口 栄鉄
1938年、沖縄県那覇市出身。琉球大学英文科卒業後、米国留学。インディアナ大学、プリンストン大学にて理論・応用言語学博士課程履修中、東アジア言語文学科にて日本語文化を講じる。スタンフォード、イェール大学東アジア言語文学科奉職後、沖縄県立看護大学初代英語科教授。「欧文日本・琉球学」の新分野を提唱、確立。『英人日本学者 チェンバレンの研究—《欧文日本学》より見た再評価』にまとめる。最近の著作に『英人バジル・ホールと大琉球』『チェンバレンの琉球・沖縄発見』『吉田松陰の再発見—異国に眠る残影』『《欧文日本学・琉球学》総論』がある。文学博士。



琉球国王最後の国王尚泰



朝賢の著書
『琉球見聞録』



王政維新慶賀使一行
前列左から宜野湾親方(副使)、
伊江王子(正使)、喜屋武親雲上
(副使)



昔の面影を伝える
伊江別邸

- 第1章 維新慶賀使一行とヤマトへ
琉球王府より東京に派遣された維新慶賀使節に随行
- 第2章 青春の頃
儀保村に生まれた朝賢の少年時代から、国王の御側に仕える王府生活を垣間見る
- 第3章 大航海時代の海鳴り—薩摩藩の思惑
ジョン万次郎、ペリー艦隊の来琉をその目て見た朝賢
- 第4章 初めて明かされる「島津斉彬の極秘プラン」
道半ばにして急死した島津斉彬の対琉球政策とは？
- 第5章 維新以前の大変革

★ほとんど知られていない人物を通して読む「もう一つの沖縄史」です★

7月中旬 新刊搬入予定です 配本部数申込締切は 6月25日(火) です
FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版
〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
琉球王朝崩壊の目撃者 喜舎場朝賢		
7月新刊 本体 2,000円	部	